

## アメリカ研修を終えて

中山中学校 3年 細谷里咲子

7月25日から8月5日まで、本当にあっという間の12日間でしたが、数え切れないほどたくさんの方のことを経験することができて、今年の夏休みは、最高の思い出となりました。

アメリカに着陸する時点で、飛行機の窓から見た風景にまず感動しました。夜に、ホストファミリーと対面しましたが、とてもワクワクしました。私とKatiは、同い年の同じ誕生日だということもあり、会ったときから一気に距離が縮まったように思います。

それからの日々は、楽しい体験をたくさんしました。市役所でのウェルカムレセプションでは、大歓迎を受けました。私はトップバッターでのスピーチだったので、さすがに緊張して心臓がバクバクしていましたが、あちらの人たちはノリがよいので、私の一言一言に反応してくださり、とても気持ちよく話すことができました。

国が違っても、同じ物を見たり体験したりして共感したときは、同じような感情が流れるし、自然と会話がはずみ、心は近いんだなあと思いました。特に妹のkrissyとは、全く壁を感じず遊んでいました。彼女に「Do you love me?」と聞かれ、「Yes!」と答えると大満足の様子で、私も同じように、「Do you love me?」と言うと、当然のような顔をして「Yes! I love Risako. She loves me.」と言うのがおかしかったです。



▲とてもかわいかった krissy

お別れする前日の夜、サンキューカードに、私は Disenbacher 家の人たちの似顔絵と感謝の言葉を書きました。とても心を込めて描いたので、喜んでもらえてホッとしました。お別れする日は、これがホントのホントに最後のお別れなんだなあと思うと、もう少しで泣きそうになりました。何度も何度も家族とハグをして別れを惜しみました。

これからも、ホストファミリーとは連絡を取り、またいつか絶対に、ホストファミリーの家に戻りたいなと思っています。そして、Katiかkrissyが、日本に来るときがあれば、ぜひ、我が家に来てほしいと思います。



「百聞は一見に如かず」ということわざがありますが、体験を通して感じたこと、学んだことに勝るものはないと改めて感じています。今すぐに答えは出てこなくても、大人になっていく生徒たちにとって、将来にわたって大きな財産になっていくことは間違いないと確信しています。

アメリカ滞在中、テメキュラ市の方々が私たちを温かく迎えていただいていることをいつも感じていました。私たちのことを最優先に考えていただき、そのために親身になって労力を惜しまれない姿に、交流の歴史を感じています。

最後になりましたが、多くの方のお世話になり、テメキュラ交流研修を終えることができました。関

係されたすべての皆様に感謝申し上げます。そして、テメキュラ市との交流が続いていくことを願っています。



▶ Richard & Donna 夫妻と